

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：若野三朗 幹事：吉山宥海

情報委員長：清水 忠

1979・4月26日 第139号

“庶民生活と年中行事”

石川県郷土資料館

副館長 今村 充夫氏



年中行事という言葉は、古く平安朝時代の貴族文化に遡るが、庶民に使われるようになったのは江戸時代の中頃以降であり、それも農耕にかかわりを持つ儀式の性格が強いところに特徴がある。

たとえば、三月の節句は、ことしの農耕を今からはじめようという時期に、みそぎをして、その汚れを人形に託し、流し去ろうという流しびなの儀式であったし、五月の節句は、薬草を採取して毒気を払う、やはり物忌み、みそぎの行事であった。

六月の氷室にしても、稲田では田植えが終ったあとの、畑では麦の刈入れが終わったあとの一くぎりをつける節季であり、その後の稲の育成を待つ一年の残り半分へのスタートの元日の意味を持っていた。

そういった年中行事は、日本人の農耕生活にもとづいた祭であり、この時ばかりは、晴着を着飾り、なおらいをたしなみ、休日を楽しむというハレの日であった。

単調で苦勞の多い暮らしの中に、こういった節を設けながら、農耕を営み、独自の文化を育てて来た祖先の知恵に、私たちは脱帽せざるを得ない。

—金沢北RC例会講話から— (文責 清水 忠)

ふるさとシリーズ “橋、

⑮ 長町二の橋 (大野庄用水)

天正年間、前田利長の家臣富永佐太郎によって完成されたとされる大野庄用水に架かる。百万石の昔をそのままに元武家屋敷の土堀が見る人をして当時を偲ばせてくれる。

金沢の見て歩きコースとして観光客の足は絶え間ない。この橋をバックに撮った写真を見る時、旅行者はまた「金沢」を訪れたいくなるにちがいない。

街並とよく調和した橋である。



## 私の職業奉仕

上田 忠信

職業分類は不動産貸付業として入会して居る私であります、本来の職業は農業でありまして、それが約16年程前から都市近郊農業の宿命とも云うべき、都市化の波に押されて止むなく先祖伝来の農地を縮小して、アパート経営にウエートを置く様になった訳であります。

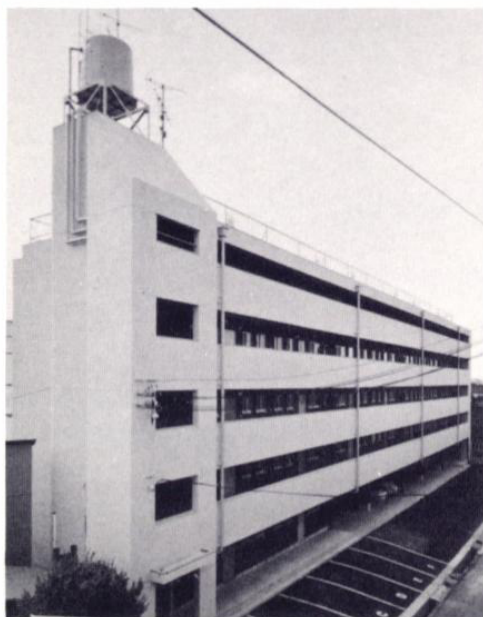
最初の頃、不動産所得は不労所得の最たるもので、果して独立した職業と云えるだろうか？ と自他共に甚自信がありませんでした。然し其の後貸付世帯数も二桁以上三桁に近くなり、其の上ロータリーゼーションの発達と共に、入居者に付随した自家用車の駐車場も経営する様になってからは色々と用事も多くなって来ました。

特に入居者に異動のある場合は忙がしいです。退居者への清算、新入居者受入準備としての掃除修繕、そして契約と、転勤シーズンともなると大変です。修繕の方も初めの頃は職人任せでしたが緊急の場合来て貰えないので、今では見様見真似で、照明器具の小修理は勿論、ペンキ塗り、襖貼りから壁塗り迄、材料を買って来て自分で修理して居ります。月末近くに空いた部屋を翌月新しい人に貸す時なんか夜遅く迄働きます。次に入る人の身になって少しでも綺麗にしようと、一生懸命頑張ります。子供さんの居る部屋は傷みが激しいですが、自分の家だと思って大事に使用して居る以上の傷みは仕方無いとして、自由に使って頂いて居ります。

何事も誠心誠意尽さねば気の済まぬ私の事、頼まれれば相手の為に一生懸命やります。古い考えかも知れませんが、昔の大家と店子の関係の様に子供さんの進学や入園の世話やアドバイス等、頼まれれば親身になって相談に応じて居ります。自分の職業を通じて少しでも多くさんの人に喜んで貰えれば満足です。

以下アパート経営に就いて私の経験から感じた事を列記しますと、

- (1) **立地条件** 交通及び環境の良い場所、特に日照権、電波障害等附近に迷惑を及ぼさぬ事。
- (2) **資金計画** 借入金のある場合、低利の政府資金（住金、農住資金等）の導入を計る事。
- (3) **建築工事** 信用ある業者と契約する事は勿論、将来の需要を見越した建物を造る事。
- (4) **入居者対策** 良心的な斡旋業者と契約し、入居者異動の際は入居者の身になって綺麗に整備する。又入居者とは常に人間関係を良好に保ち、アパート経営を円滑にする。



大体以上であります、住宅事情も相当緩和されて来た昨今は尚更良質のアパートを、安く供給する様に心掛けるのが、先決問題だと思います。

いずれにしても、先づ自分自身の職業をしっかりと確立して、始めてロータリー精神の職業奉仕をする事が出来るのではないのでしょうか。

今後共会員諸兄のご指導をお願いする次第です。

以上



1979年4月13日

日本・石川県・金沢北ロータリークラブ会長  
若野 三朗様

親愛なる若野会長、私は国際ロータリー本部を6週間留守にして、只今帰った所です。

今年のロータリーのテーマは“REACH OUT.”であり、貴クラブが健康と飢餓と人道、プログラム発展の為の75周年記念資金に824.98ドルを寄附された事は正に是に当たります。

この資金は世界の窮乏、特に児童の疾病との闘いに使用されるでしょう。どうぞ貴クラブ全員に私の感謝を表明されたい。

私はこの新しいプログラムに皆様が多額の支援を下さいました事を深く評価しまして、その印として3-H運動を描いたバナーを送ります。

もう一度、現時緊急の問題を解決するように計画されている新運動に過大な反応を下された貴クラブに対して、私の感謝を捧げます。 敬具

R.I会長 クレム・レヌーフ

## 理事会報告

4月19日(木) ホワイトハウス  
出席者 14名

### ■ 5RC合同役員会報告

- 滑川RC認証状伝達式の件。
- ベルギー交換学生の件。
- 6月24日金沢商工会議所における地区協議会に関して、市内の出席者は駐車場の関係上、自家用車はひかえること。
- ガバナーノミニーマリカ研修旅行のお餞別の件。

### ■ 国際児童年事業計画の件

ヨバ・リンダRCの小学生絵画掲載の継続。

### ■ 委員会報告

- 国際奉仕委員会  
交換学生の件。  
ヨバ・リンダRC訪問お土産の件。  
米山財団週間 1人 1,000円寄付。
- 職業奉仕委員会  
卓球大会精算書
- 拡大委員会  
講話者予定発表。

### ○ 友好委員会

洛北RCの金沢訪問の件。

### ■ その他

- 5月10日(木)例会後ホワイトハウスにて、新旧合同役員会を行います。
- 5月24日(木)午後6時、森本「十字屋」にて、新役員会を開きます。

## 親睦ゴルフ大会

4月18日(木)  
能登カントリー  
参加者 11名

		O	I	G	H	N
①	塩村	46	45	91	20	71
②	小杉(善)	43	45	88	14	74
③	浅田(豊)	49	47	96	21	75
⑤	石川	50	54	104	25	79
BB賞	浅田(紀)	60	54	114	30	84

